

議会のトピックス

TOPICS

議案の審議結果

常任委員会の報告

ここが聞きたい 15人が一般質問

議会報告会の開催見合わせ

高校生議会を開催

令和2年度
予算案を審査



令和2年度 予算案を審査

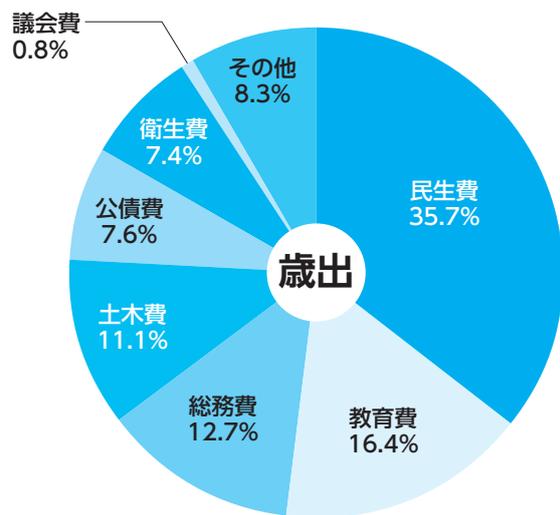
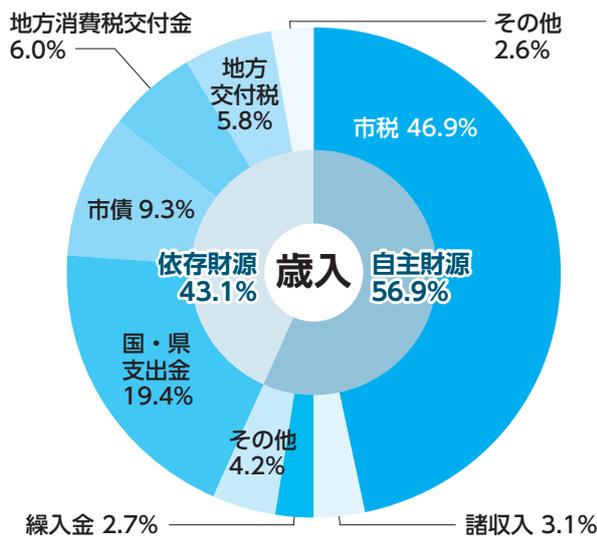
税金の使い道が決まりました

最重点施策は
『企業誘致』
と
『観光振興』

令和2年第1回定例会を2月21日から3月25日までの34日間の会期で開き、令和2年度当初予算など32議案を審議しました。

このうち、令和2年度予算案については、2日間にわたり説明を聞いた後、120項目の質疑を経て、すべての予算案について提案どおり可決しました。

一般会計予算の内訳構成



各会計予算

会計名		本年度予算	前年度予算	増減率
一般会計		315億5,000万円	314億5,000万円	0.3%
特別会計	国民健康保険事業	104億2,700万円	107億3,800万円	△2.9%
	後期高齢者医療	13億7,700万円	12億700万円	14.1%
	介護保険	73億7,940万円	70億8,170万円	4.2%
	自家用工業用水道事業	1億6,050万円	1億6,000万円	0.3%
	農業集落排水事業	1億7,000万円	1億7,500万円	△2.9%
	可児駅東土地地区画整理事業	3,300万円	2億90万円	△83.6%
	可児御嵩インターチェンジ工業団地開発事業	22億円	—	(新規)
	財産区	2,460万円	2,990万円	△17.7%
企業会計	水道事業	31億9,300万円	31億1,100万円	2.6%
	下水道事業	47億4,900万円	48億8,400万円	△2.8%

予算編成 4つの柱と重点事業

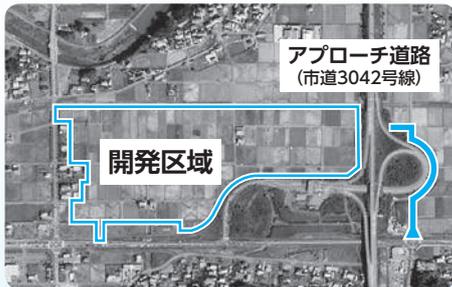
「住みごこち一番・可見 ～安心、元気、楽しいまち～」の実現に向けて

4つの重点方針ごとに注目の事業を紹介します。

地域・経済の元気づくり

工業団地開発事業 21億1,626万円

可見御嵩インターチェンジに隣接する土地を工業団地として開発するために、用地買収、家屋移転補償等を行います。また、開発区域等の詳細設計を行います。



工業団地予定地

大河ドラマ活用推進事業 1億2,860万円

大河ドラマ「麒麟がくる」や明智光秀に関連した誘客・情報発信により、可見市の魅力や良さを市民や全国の人へ伝えます。



麒麟がくる ぎふ可見 大河ドラマ館

企業誘致対策経費 1億7,815万円
文化創造センター大規模改修事業 12億9,350万円

土田渡多目的広場整備事業 2億5,124万円
戦国城跡巡り事業 1,161万円

高齢者の安心づくり

地域包括ケアシステム推進事業 7,517万円

地域での支え合い活動の機運づくりや、医療と介護の連携の取り組みを継続します。また、地域の困りごとの把握や助言、支援を行う「生活支援コーディネーター」の設置を進めます。

高齢者生きがい推進事業 2,416万円

健友連合会やシルバー人材センターへの補助により生きがいづくりを促進します。また、ひとり暮らしの方への訪問と便りの配付を継続します。

子育て世代の安心づくり

中学校施設大規模改修事業 3億9,456万円
児童センター管理運営事業 5,733万円

子どもたちの学習環境の整備や、楽しく安全に過ごすことのできる居場所づくりを行います。また、子育て世代が安心して子育てできる施策を推進します。

キッズクラブ運営事業 2億1,146万円
子育て支援拠点運営事業 5,626万円



大規模改修工事を行う蘇南中学校校舎

まちの安全づくり

河川改良事業 1億2,625万円

河川の計画的な改修と維持管理を実施します。また、土砂災害や洪水等のハザードマップを作成します。



今川改修事業

交通安全施設整備事業 5,400万円

児童生徒が安心安全に通学できる通学路等の整備を行います。また、新たに保育園児等が散歩で通る歩道の安全確保を図ります。

議会からの提言はこのように予算へ反映されました

議会は、令和元年9月定例会において、市長へ『令和2年度予算編成へ活かすための6つの提言』を行いました。これは、平成30年度決算の内容を評価検証し、議員間での議論を経て、全会一致で決定したものです。

その提言が新年度予算にどのように反映されたのかを報告します。



1. 地域防災力向上事業

地域防災力向上に資する事業の予算枠を十分に確保するとともに弾力的な運用を図ること。

改善

予算の増額はないが助成の決定方法を見直し。「地域防災力向上事業補助金」は、これまで予算の範囲内で申請順だったが、令和2年度からは申請期限を設けるなどして全体の申請状況を把握した上で交付を決定する。

2. 公共施設整備基金

公共施設等マネジメント基本計画をもとに、より具体的な実行計画をつくること。

推進

令和2年度に個別施設計画の策定を進める。

3. 空き家等対策推進事業の拡充

有効な空き家対策につながる補助メニューの拡充や新たな事業展開を。

予算up

空き家除却の助成支援予算を100万円増額。また、次期「空き家等対策計画」策定にあたり、重点施策の協議を重ね有効な空き家対策を検討する。

空き家等対策推進事業
111万円増額の370万円

4. 外国籍市民増加への対応

今後も続くことが想定される外国籍市民の増加に対して、窓口対応の充実や学校の適正な運営に十分配慮した人員配置、予算措置を行うこと。

予算up

第2ばら教室を設置し、日本語初期指導が必要な外国籍児童生徒の受け入れを拡充。また、地区センター等において、新たに作成する多言語接客カードを活用する。



ばら教室での指導風景

ばら教室KANI運営事業
1,983万円増額の3,967万円

5. 地域医療支援事業

可児とうのう病院に対して、医療機器整備の補助に限らず医師確保につながる有効な支援を。

継続

全国的に医師偏在という問題がある中で、市町村レベルでの解決は困難だが、基幹病院としての役割を果たしてもらえよう、現在の支援を継続していく。

6. 小中学校のICT(情報通信技術)整備

全国に遅れることなく、まずは大型モニターの設置、タブレットの購入、情報通信ネットワークの構築を行い、その後も計画的な推進を適切に図ること。

予算up

国のGIGAスクール構想^(※)の補助金を活用して、学校ICT環境整備を進める。

- 令和2年度中に高速大容量の校内通信ネットワークを整備
- 令和2～5年度にかけて全小中学校の普通教室に大型モニターを設置予定

令和元年度補正予算
全小中学校LANケーブル敷設等
1億9,600万円

令和2年度予算
大型モニター37台分
550万円

※GIGAスクール構想

政府が進める学校現場へのICTの大規模整備計画。2019年度補正予算に2,318億円を計上。全国の児童生徒にパソコンやタブレット端末を配備し、校内高速通信ネットワークを整える。

提出された議案と審議結果



第1回定例会に提出された議案は、予算18件、条例11件、人事2件、その他1件、委員会発委1件で、すべて原案のとおり可決しました。

番号	件名	結果
1	令和2年度一般会計予算	○
2	令和2年度国民健康保険事業特別会計予算	◎
3	令和2年度後期高齢者医療特別会計予算	○
4	令和2年度介護保険特別会計予算	○
5	令和2年度自家用工業用水道事業特別会計予算	◎
6	令和2年度農業集落排水事業特別会計予算	◎
7	令和2年度可児駅東土地地区画整理事業特別会計予算	◎
8	令和2年度可児御嵩インターチェンジ工業団地開発事業特別会計予算	◎
9	令和2年度土田財産区特別会計予算	◎
10	令和2年度北姫財産区特別会計予算	◎
11	令和2年度平牧財産区特別会計予算	◎
12	令和2年度二野財産区特別会計予算	◎
13	令和2年度大森財産区特別会計予算	◎
14	令和2年度水道事業会計予算	◎
15	令和2年度下水道事業会計予算	◎
16	令和元年度一般会計補正予算（第5号）	○
17	令和元年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	◎
18	令和元年度水道事業会計補正予算（第1号）	◎
19	監査委員条例の一部改正	◎

番号	件名	結果
20	職員の育児休業等に関する条例の一部改正	◎
21	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正	◎
22	手数料徴収条例の一部改正	◎
23	特別会計条例の一部改正	◎
24	教育に関する事務の職務権限の特例を定める条例の一部改正	◎
25	文化創造センター条例の一部改正	◎
26	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	◎
27	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	◎
28	印鑑条例の一部改正	◎
29	水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正	◎
30	北姫財産区管理委員の選任	◎
31	可茂広域公平委員会委員の選任	◎
32	市道路線の認定	◎
発委	1 議案第8号令和2年度可児御嵩インターチェンジ工業団地開発事業特別会計予算についてに対する附帯決議	○

【結果の表示記号】◎全会一致で可決・同意
○賛成多数で可決

議案の詳しい内容については、議会ホームページで確認いただくか、議会事務局窓口で閲覧することができます。

第1回定例会の賛否一覧 ※これ以外の案件等は、全会一致で可決しています。

	奥村新五	松尾和樹	中野喜一	田原理香	大平伸二	渡辺仁美	伊藤正規	勝野博之	板津博之	澤野伸	山田喜弘	川合敏己	川上文浩	天羽良明	酒井正司	野呂和久	山根一男	中村悟	伊藤健二	富田牧子	亀谷光	林則夫	
議案第1号 令和2年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
議案第3号 令和2年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
議案第4号 令和2年度介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
議案第16号 令和元年度一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
発委第1号 議案第8号令和2年度可児御嵩インターチェンジ工業団地開発事業特別会計予算についてに対する附帯決議	○	○	○	○	○	○	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●

※○は賛成 ●は反対 ※議長（伊藤壽）は採決に加わらない。

令和2年度 可児御嵩インターチェンジ 工業団地開発事業 特別会計予算に対する 附帯決議

可児御嵩インターチェンジ工業団地開発事業により生じる財政負担によって市民生活に影響を与えないよう、必要かつ安定した市民サービスを維持し、事業完遂に向けた最大限の努力を図ること。

（附帯決議の提案理由は7ページをご覧ください。）

常任委員会報告

第1回定例会の議案審査等の概要です。

予算決算委員会

令和2年度予算15件、令和元年度補正予算3件及び特別会計条例の一部改正について審査を行いました。

工業団地開発が本格始動

最重点施策に位置付けられている「可児御嵩インターチェンジ工業団地開発」について、次のような質疑がされました。

◆◆ 質 疑 ◆◆

Q 今後の経済動向をどう判断しているか。造成した土地が売れるかどうかは鍵。

A 内閣府の2月の月例経済報告で、設備投資の先行きについ

て、ゆるやかに増加していくと期待しているが、新型コロナウイルス感染症の影響を十分に注

意する必要がありと分析している。

またリーマンショック以降、県

内の工業団地に50区画の空きがあ

ったが10年かけ47区画の売却

ができた実績がある。本市の造

成計画が明確になれば、新たな

製造ライン等を建設しようとい

う企業が見つかるかと考える。

Q 本市の財政の長期見通しが

厳しい中、工業団地開発事業に

より市民サービスの低下が懸念

される。その対策は。

A 一般会計の負担額は総額

5億7000万円ほどを見込んで

いる。工業団地開発事業を進め

るにあたり、さらなる事業費削

減を求めるとともに、毎年の予

算編成では財政調整基金等の活用や重点事業の選択により市民サービスの低下を招かないよう健全な財政運営を維持していく。

◆◆ 討 論 ◆◆

一 般 会 計

反対 国の景気対策のマイナポイント

は使える人や店舗が限

られ不公平な制度だが、関連事

務委任交付金が計上されてい

る。またリニア用地取得費等事

務委託金や電源立地地域対策交

付金が含まれていること、平成

29年度で終了すべきであった下

水道整備に伴う代替業務の随意

契約は早期に見直すべきと考え

ることから、反対。

賛成 4つの重点方針を継続し

つ、最重点施策として企業

誘致と観光振興を掲げている。

新たな取り組みに果敢に挑戦す

る姿勢が見え、その実現に期待

する。また、これまでの事業を

整理統合するなど歳出削減の努力がうかがえる予算配分となっている。財政の健全性を維持しつつ、多様な市民ニーズに応えるための政策をバランスよく両立させる取り組みに期待し、賛成。

後期高齢者医療特別会計

反対 保険料も窓口負担割合も複雑でわかりにくい制度となっ

ている。患者負担を重くして医

療費の増加を抑制しようとして

おり、高齢者の生活を脅かす後

期高齢者医療制度には、反対。

賛成 当初予算の95・6%は広域

連合への納付金だ。その広

域連合の財政運営は余剰金の活

用で保険料率が抑制されてい

る。広域連合と連携を図りなが

ら制度の安定運営が行われてお

り、賛成。

介護保険特別会計

反対 介護予防事業等が介護サ

ビス給付費から総合事業に

移行後、公的保険が責任を後退させている。令和2年度には施設入所者の補足給付制度の見直し等負担増を求めようとしており、保険あつて介護なしの状況が進んでいくことから、反対。

賛成 これまで取り組んできた地域の支え合い活動や介護予防、認知症予防対策など各種事業をより一層充実し、積極的に実施する費用が盛り込まれており、賛成。

令和元年度一般会計補正予算

反対 小中学生1人1台のタブレット支給に向けて、校内のLAN整備のため多額の市債を発行する。1人1台のタブレットが必要か疑問だ。また、無線LANは周波数の高い電磁波が使われ、子どもの健康面の不安もある。子どもの学習環境はタブレットより特別教室や体育館のエアコン整備が優先だと考え、反対。

附帯決議案の提案

採決後、委員より可児御嵩インターチェンジ工業団地開発事業に対する附帯決議案が提案され、可決しました。

主な提案理由

総事業費47億円という本市始まって以来の大規模事業であり、未来に向けた大きなチャレンジと認識している。しかし、土地の売却による収益との差は税で賄わなければならず、今後、長期にわたって一般会計の予算編成に影響が出るおそれがある。投資的経費やインフラの維持管理経費の圧縮など、市民サービスの低下が非常に懸念される。

※附帯決議とは

議決に当たって付随的に付けられる意見または要望の決議。法的な拘束力を持つものではないが、政治的、道義的に尊重されるべきものとされる。

総務企画委員会

成年被後見人の権利の適正化

印鑑条例の一部改正について審査しました。

Q 口頭での印鑑登録申請は可能か。

A 字を書くことができないう方が申請する場合、窓口で本人確認、印鑑登録の意思確認ができれば必要事項については職員が代筆して対応する。

建設市民委員会

開館後初めてアーラの利用料を改定

文化創造センター条例の一部改正について審査しました。

Q 開館から17年料金を改正しなかった理由は。

A 市とアーラで検討はされてきたが実現には至らなかった。今後は5年ごとに見直しをする。

Q 条例施行日を令和2年4月

1日にした理由は。

A 利用料金改正は令和3年4月1日以後の利用分だが、申し込みが1年前からできるためである。

Q 飲食の有無等使い方によって料金を変えることは検討しなかったか。

A 特に検討はしていない。

教育福祉委員会

キッズクラブ支援員の資格の経過措置を延長

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について審査しました。

Q 放課後児童支援員に県の研修の修了予定者も含むという経過措置を3年延長することだが、延長した後の対応は。

A 未受講の指導員に研修を受講してもらうことで支援員を増やし、令和5年3月31日までに基準を満たすようにしたい。

一般質問

15人が市政を問う

市の方針や市民の皆さんの生活に関わる大切な内容について議員が市に対して質問を行いました。

一般質問の紙面は、質問議員が作成しています。ご不明な点は議員にお尋ねください。なお、山根一男議員及び渡辺仁美議員の質問については、原稿の提出が紙面の作成に間に合わなかったため掲載しておりません。

一般質問については、可児市議会ホームページで映像をご覧いただけます。また、5月下旬に同ホームページに会議録を掲載する予定です。



左記二次元コードを読み取っていただくと議場での様子を映像にてご覧いただけます。



公共施設照明器具のLED化対策は

Q 公共施設等マネジメント基本計画（FM基本計画）への位置づけは。

A FM基本計画・アクションプランは、個々の設備の更新を位置づけるものではない。蛍光灯器具や水銀ランプについては、生産終了するメーカーがあること。また、消費電力の削減、温暖化対策といった環境面などの方向性は理解しており、公共施設のLED化は、その一つの方策として進めていくものと考えている。照明器具を抜き出して計画を立てるのではなく、FM基本計画・アクションプランや、策定中の個別施設計画に基づき、施設の大規模改修や建て替えに合わせ、設備更新の中でLED化を実施していく。

住宅リフォーム助成制度の見直しを

Q 住宅照明器具改修を現在の対象金額より低い金額で対象メニューにできないか。

A 助成制度では様々なリフォーム工事に対して補助を行い、また市内住宅関連業者に一定の工事費が見込まれるよう金額を設定している。特定の種類の工事に限ることや、対象工事費の引き下げは現在のところ考えていない。



おおひら しんじ
大平 伸二



水銀灯は水俣条約により2021年生産終了

各地区センターの施設稼働率は向上したか



まさき まさき
かつの 勝野

Q 平成30年度から公民館を社会教育法の適用を受けない地区センターへと移行させたが、施設稼働率は向上したか。

A 地区センターへの移行に伴い、営利目的、政治活動等での使用も可能となったため、稼働率は移行後の2年間で6ポイント上昇している。また、使用料が2倍となる営利目的による収入増も含め、使用料収入も大きく増加している。

自転車の安全走行指導は

Q 小中学校では自転車安全教育の徹底が必要ではないか。また、自転車特別指導員という方をお願いし、自転車走行を指導されている中学校もあり、その効果はあると聞けが、中学校区毎に配置することはできないか。



自転車と歩行者が通行できる旨の道路標識

A 小学校では交通指導員を招くなどして、自転車の乗り方も含めた交通安全指導を行っている。中学校では可児警察署交通課等に講師を依頼し、法規・実技を通じた自転車安全教育を実施している。地域での見守り活動を通して声かけもしていただいております。自転車特別指導員を一律に配置する予定はない。

後期高齢者対象の「フレイル健診」導入は



しん 伸
さわの 澤野

Q 75歳以上を対象に新たなフレイル健診をどのように実施するのか。

A フレイル[※]などの高齢者の特性を把握するための新たな質問票を作成。運動や食生活の習慣、物忘れの有無など15項目を尋ね、後期高齢者の運動能力や栄養状態などを把握し、フレイルの早期発見または指導や助言を基に重症化予防を推進する。令和2年から、国の示す15項目に従来の既往歴や飲酒、睡眠といった項目を加えた市独自の質問票を作成し、健診申込者に送付。受診勧奨や保健指導等の対象者の抽出が簡便となり大きな効果が期待される。

フレイル健診導入への体制づくりは



後期高齢者の質問票の解説と留意事項

Q 保健事業と介護予防の一体的な体制は。

A 地域の医療関係団体と連携を図りながら、医療専門職が積極的に関与し、フレイル予防にも着目した高齢者への支援を行う通いの場を構築する。令和6年度までに高齢者の保健事業と介護予防の一体的な体制が求められている。プロジェクトチームをつくり実施に向け検討していく。

※フレイル
加齢により心身が老い衰えた状態

夏までに河川の浚渫をすべきだ



あもあき よしあき
天羽 良明

Q 大型台風で堤防決壊が相次ぎ、河川沿いに生活をしている市民の不安は高まっている。一刻も早く、市内の河川の全域を調査し、夏までに緊急に浚渫を進めるべきだ。

A 県管理の一級河川で6件の要望がある。国の緊急浚渫推進事業を活用するには、土砂の堆積状況を勘案し、緊急度が高い箇所的位置づけ等を整理した「河川維持管理計画」の策定が必要となる。県に対してはできる限り早期の着手を働きかける。

みんなでまちをきれい

Q 集会所周辺や道路、河川等の除草・清掃活動に個人または少人数でも、安心して公益活動に参画できるよう補償充実を。



河川の土砂堆積が進んでいる

A ボランティアであっても個人が自由に行うものを、補償制度の対象とすることは困難であるが、自治会の草刈り活動等に位置付けられるものにロードサポーター活動、花いっぱい運動等については、個人または少人数であっても、事故報告をもとに公益的活動中または市の業務遂行上の事案であること等を確認した後、市で加入する保険制度により補償を行う。

地球温暖化対策への取り組み強化を



とみだ まきこ
富田 牧子

Q 本市の「地球温暖化対策実行計画」では、中期目標として2020年のCO₂排出量を77.1万トンとしていた。ところが、2016年に95.7万トンと目標値を大きく上回ってしまった。その原因として事業者への働きかけが不足していたと「第3次環境基本計画」では述べられているが、今後どのように働きかけを強化してCO₂排出量を減らしていくのか。

A 「第3次環境基本計画」では、地球温暖化防止が重点施策の一つとなっている。市内事業者でCO₂排出削減に取り組む事例を調査して、紹介するなどして、他の事業者もCO₂削減に取り組んでもらえるよう努めていく。

補聴器購入に公的補助を

Q 70代では3人に1人が加齢性難聴になるといわれている。しかし、補聴器は高額で両耳では40万円以上かかる。補聴器購入費用を助成・補助する自治体も増加している。

A これからますます高齢者増加が見込まれることから、市が単独で補助することは困難である。岐阜県下で補助を行っているところはない。



CO₂削減に取り組む
市地球温暖化対策実行計画

可児駅前線の暫定開通と地域の安全確保



かわかみ ふみひろ
川上 文浩

Q 可児駅前線の交通規制の変更点は。

A 市の計画に対し、岐阜県公安委員会は、可児金山線交差点は信号機を設置する予定だが、暫定開通する場合は、可児金山線の車道中央にポールを設けるなど、右折ができないよう規制する意見があった。

市道45号線との交差点は、一時停止規制や横断歩道の設置予定はない。市道118号線との交差点は、現時点で信号機の設置予定はなく、一時停止規制と横断歩道2箇所のみの設置である。

市では、各交差点手前に注意喚起看板を設置するとともに路面着色や区画線による減速標示を行い、交差点部の事故防止を図る。また、交差点

部には、夜間の安全性向上のため道路照明灯や歩行者保護のためのガードパイプを整備する。

暫定開通を遅らせるべきでは

Q 暫定開通を始める時期は。

A 一方的に暫定開通を進めることは考えていない。地域の方々の不安に対し、丁寧の説明をするとともに、その解消方策を検討していく。



可児駅前線と市道45号線の交差点部分

工業団地開発に係る投資額の回収は



やまだ よしひろ
山田 喜弘

Q 可児御嵩インターチェンジ工業団地開発事業は多額の市民負担が生じる。その回収見込みは。

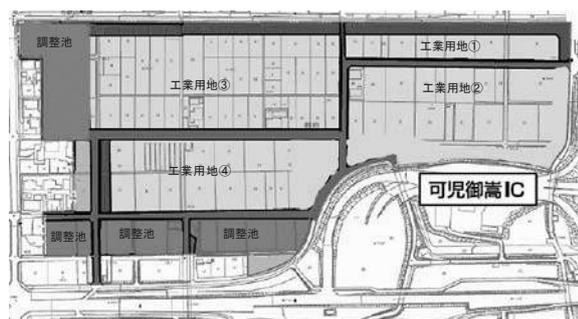
A 総事業費47億5千万円で売却収入は41億2600万円を想定し、差額6億2400万円となる。これは市道改良に係る経費が主である。工業団地に企業誘致することで得られる固定資産税の試算によれば、概ね2億5千万円から1億3千万円程度が見込めるので、5、6年で税収が6億円程度に達する。ただし、企業立地奨励金制度で、5年間固定資産税相当額を補助金として支出することとなる。

GIGAスクール構想実現を

Q 令和5年度までに、小・中学校の1人1台コンピュー

タ端末の整備についてどのように進めるのか。

A 国の補助金制度を活用し、まず、全小・中学校の校内ネットワークの高速大容量化を進める。小・中学校児童・生徒1人1台端末を目指し、事業の優先度や国の補助金を含む財源など考慮しながら検討を進めている。



工業団地開発計画図

保護者クラブに対する支援は



なかむら さとる
中村 悟

Q 保険加入、指導者の確保、練習場の確保等支援はどうなっているか。

A 保険は、公益財団法人スポーツ安全協会の保険に加入している。指導者については、顧問の先生と相談し適切な人をお願いしている。部活のクラブ化への協議の中で関係者と検討を続けている。

練習場については、学校長が認めたクラブの活動は、学校開放の規則の中で優先的に利用が可能である。部活動がある限り保護者クラブも存続すると考え、保護者を中心に学校関係者等と連携して支援していく。

野良猫の不妊手術費に助成を

Q 猫の命を守り、猫による迷惑行為を防ぐには猫の繁殖

を抑制するしかない。その一番の方法が不妊手術であるが高額である。助成はできないか。

A 大人の猫について外見で飼い猫か野良猫か判別が難しいうえに不妊手術をしても元の場所に戻すのであれば糞害は直ちになくなる。

現状では、個人的な野良猫保護や里親探し活動に対する不妊手術費助成は難しい。



スポーツ安全協会の保険

ゴミの分別に対する市民への啓発活動



まつお かずき
松尾 和樹

Q 文化が異なる外国籍市民へどのように配慮しているか。

A 外国籍市民の多くが勤めている人材派遣会社各社へ依頼して外国語表記の分別表を配布したり、自治会の要望に応じてゴミ集積場に英語やポルトガル語の案内看板を設置するなど民間業者や自治会と協力して各家庭に行き渡る様に取り組んでいる。

ゴミ袋のデザインを改良することはできるか

Q 外国籍市民に限らずゴミ出しをするすべての人に分別の啓発をゴミ袋を用いて視覚で訴えてはどうか。中学校や高校の美術部と連携したり、一般公募などで多くの市民を巻き込んで新しいデザインを考えることが啓発活動に繋が

るので。

A 現在は硬い表現になっていると思う。デザインを改良し、イラストや二次元コードを入れることは可能である。ゴミ袋のデザインによってゴミ出しの意識を改めてもらえる効果がどの程度あるのかを見定める必要があることから、経費が上昇しない範囲内で研究をしていきたい。



京都市はイラスト入りのゴミ袋で分別を啓発

不登校児童生徒に寄り添い 細やかな支援を



たはらりか
原 理香

Q 担任の思いと働きかけが不登校児童生徒の学校復帰の一番の力となる。担任に余裕が出来るようスクールサポーターが代わりに教科を受けもつなど、今あるスクールサポーター制度を活用できないか。

A 本来先生をサポートする制度である。先生やサポーターと話し合いながら一番いい方法になるようにしていく。

Q 学校に行けない児童生徒を外へ一歩出させる手立てをどう考えるか、外へ出られるよう、根気よく働きかけることはできないか。

A 不登校児童生徒が社会とつながることはとても重要である。自然との触れ合いやものづくりなど体験事業などは

Q 市内小中学校の不登校児童生徒対策の一覧表

中学校区		令和元年度				
		蘇南中 校区	中部中 校区	西可児 中校区	東可児 中校区	広陵中 校区
スクールカウンセラー(中学校)	年間勤務回数	45	45	30	30	30
スクールカウンセラー(小学校)	年間勤務回数	28	28 (東明17)	28	28	28
スクール相談員	年間勤務回数	30	30	30	※1	30
スクールソーシャルワーカー		週1日	週1日	※2	週1日	週1日
スクールサポーター		20人	17人	10人	6人	6人
主幹教諭			1人	1人		
発達適級教室指導教員		1人	1人	2人	※3	※4
適応支援の非常勤講師	適当たり勤務時数	25	35	25	15	20

※1 スクールカウンセラー等で対応
 ※2 生徒指導主幹教諭で対応
 ※3 東明小(中部中校区)で通級
 ※4 西可児中校区の指導教員の1人が巡回指導

市内でもたくさんあるので、紹介し、外へ出られるよう後押しをしていきたい。

Q 学校の相談室は入りにくいし、いつも人がいるとは限らない。気軽に入れるような元先生等フリーな立場の方をおくことはできないか。

A 子どもが相談出来るような雰囲気を作ることが大事。退職の先生などへ協力をお願いしていきたい。

美濃焼の聖地保存には リニア走行の地下化を



いとうけんじ
伊藤 健

Q 美濃焼の聖地保存には当時の林野・環境をそのまま残すことだ。リニア中央新幹線工事の地下化を再度、JR東海に対し要請してはどうか。

A リニア中央新幹線の地上走行は全国新幹線鉄道整備法により工実施計画が認可された。地上走行を前提とした具体的な計画を基に協議し、解決策を模索したい。現時点では再度の要望を行う考えはない。地上走行に伴う測量設計の実施の条件としてJR東海が住民に約束した地下走行の再検討結果を注視し、対応を行う。

Q 久々利大萱を丸ごと残していく方策はないか。歴史的

Q 聖地を守るため景観の地区指定を



美濃桃山陶の聖地
(荒川豊蔵資料館周辺)

景観権を主張し、景観形成重点地区に指定できないか。

A 景観法では景観行政団体(市)が定める景観計画にて建築物・工作物の形態等の制限や高さの限度などを定め得るが、設置そのものは制限できない。また、市景観条例により国認可の地上走行を制限はできない。太陽光発電施設についても、景観条例により設置を制限することはできず、現在調査している太陽光発電施設に関する条例の中で検討していく。

議会報告会の

開催見合わせるについて

毎年春と秋の年2回行っている「議員と語ろう」議会報告会。

今年の春は、総務企画委員会、建設市民委員会、教育福祉委員会
の3つの常任委員会ごとにテーマを設け、それぞれの委員会の委員
を中心に、5月の開催に向け準備を進めていきました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、本年
春の開催を見合わせることにしました。

可児市議会では、議会報告会を市民の皆さんの声を聴く大切な機
会と捉えており、少しでも多くの方に参加いただきたいと考えてお
ります。

次回の開催については、決まり次第、チラシや議会ホームページ
等でお知らせします。

ケーブルテレビで放送します

「CTKタイムズ かにみた!」の中
で、令和元年度下半期の議会活動をお
伝える番組「議会のトビラ」を放映
します。ぜひご覧ください。

放送
予定

5月13日(水)～5月19日(火)
7時20分・12時20分
17時20分・22時20分

なお、可児市議会ではYouTubeで
の配信も行っており、いつでも視聴す
ることができますのでご利用ください。



登庁時の体調申告



出席者全員マスクを着用



席を空けて会議をする様子

新型コロナウイルス感染症の感染拡大
防止のため、令和2年第1回定例会は、
マスクの着用、消毒液の設置等の対応を
行って開催しました。また、議会の傍聴
については、市役所ロビーやご自宅での
ケーブルテレビの視聴をお願いしました。

定例会以降も、議員登庁時に体温及び
体調の申告や、会議での密着を避けるな
どの対策を行っています。

市の課題について考えました

令和2年2月5日に可児高校の1、2年生23人が参加して高校生議会を行いました。

参加した生徒のほとんどが、昨年10月に行われた模擬選挙の打ち合わせ段階から関わっており、候補者の選挙公約となった「学習支援」「多文化共生」「社会福祉」の3つのテーマについて意見交換を行いました。

【第1部】

4グループに分かれての生徒と議員との意見交換では、生徒も積極的に発言し、活発な議論となりました。また、第2部で発表する資料の作成や、『意見書』の取りまとめを行いました。



グループ討議の様子 (第1部)

【第2部】

議場において、第1部での意見交換の内容を各グループが発表し、議員からの質疑を受けました。

その後、各グループから『意見書』が提案され、4件全てが全会一致で採択されました。



起立採決に臨む高校生議員たち (第2部)



グループ発表の様子 (第2部)

採択された4つの意見書(要約)

意見書①

公衆フリーWi-Fiの整備を。実現までに調査は必要だが、観光客にも学生の学習にもとても有効です。

意見書②

学校や家以外で学習できる環境は貴重。公共施設等の学習スペースを増やしてほしい。

意見書③

食文化で多文化交流を。お互いを知り合うことで、きっと関係が深まります。

意見書④

高齢者の生活の充実に重要な公共交通機関。その認知度向上のための情報発信を。

【意見書の提出】

第2部終了後、採択された意見書が、それぞれの提案者から議長へ手渡されました。



議長に意見書を提出

参加した高校生たちは、テーマについて関係機関への調査等も行い、市の課題について一生懸命考えてくれました。また、意見書を出し合い、議論しながら意見書をまとめる過程も、よい経験になったのではないのでしょうか。

意見書の内容はもちろん、一部の意見交換の中でのやりとりも、若い世代の大切な声として、議員一人ひとりの心にしつかりとどめ、今後の議会活動に活かしていきます。

可児高発議第1号

公衆フリーWi-Fiの環境整備に関する意見書

私たちエンリッチコアメンバーは、本年度可児高等学校模擬選挙の公約についてテーマを決めるため、「この街に対して自分たちが思っていること」を話し合いました。その中に「可児市に公衆Wi-Fi環境を整えて欲しい」というものがありました。現在の可児市には公衆Wi-Fiがありません。

そのデメリットを二つあげます。

一つ目は、本年度、大河ドラマ「麒麟がくる」の影響でこの地域を訪れる観光客が増加していますが、観光スポットや街中の情報を得るのに、特に外国人観光客は公衆Wi-Fiがないと情報が得にくい現状があります。

二つ目に、私たち高校生にとって、学習時に何か調べたいことがある時にスマホを活用して情報取捨や各種解説動画を見て理解を深めたいというニーズが強くあります。しかし毎月数ギガの中で、残りデータ残量を気にしながら過ごしている現状があります。

このように「公衆Wi-Fiを整備する」ことは地域住民にとって生活の利便性が向上させるのに有効な手段と考えます。確かに全ての住人が接続するとなると相当な設備が必要になるため、どのような形で実現するかについてはこれからリサーチを必要とすると思いますが、日本各地で自治体主導で公衆Wi-Fiを整備した事例は数多くあり全く実現不可能だとは言えないと思います。

これからの可児市をより住みやすく、過ごしやすくするためにも大切だと思えます。

以上のことから次の一点について要望します。

記

- 1 可児市に公衆フリーWi-Fiを整備すること。

令和2年2月5日

岐阜県立可児高等学校
2年

可児市議会 議長 伊藤 壽 様

皆で練り上げた意見書

議会レポート

このコーナーでは、議会が本会議以外で行っているさまざまな活動を、写真で報告していきます。

▼議員研修会

(1月16日)

可児市議会議員研修会を開催し、福知山公立大学准教授の杉岡秀紀氏より、「次の議会改革に必要なものはなにか」をテーマに講演いただきました。近隣市町の議会にもお知らせし、多数の参加をいただきました。



▼広見小学校子ども議会 (1月21日)

毎年恒例の広見小学校子ども議会です。6年生の社会科授業の一環で、議会の仕組みを学び、仮想の市の政策について考えました。皆で意見を交わすことの大切さを感じることができたのではないのでしょうか。



第3回定例会のお知らせ

5月

29日 開会日（議案説明）

6月

9日 一般質問・議案質疑
10日

11日 予算決算委員会

12日 総務企画委員会

15日 建設市民委員会

16日 教育福祉委員会

25日 閉会日（委員長報告・討論・採決）

会議は午前9時開会の予定です。

日程は、都合により変更となる場合もあります。



チョット おじゃまします

※今回は議会だより等の音訳をしている『音訳・ヴォイスの会』さんに、林則夫議員と山根一男議員がおじゃまして、代表の村上廣子さんはじめ、会の皆さんにお話をうかがいました。

広報委員：どのようなきっかけでいつごろ会が創立されましたか。

村上さん：平成2年に図書館主催の「朗読ボランティア育成講座」（全20回）を受けた23名で立ち上げました。

広報委員：活動を長く続けていく秘訣はありますか。

村上さん：30年前からのメンバーもいます。それぞれに信念を持って活動し、目的を持っていることだと思います。

広報委員：音訳とは具体的にどのようなことをするのですか。

村上さん：音訳とは簡単に言えば「文字を声にする」こと。視覚障がいのある方たちが不自由されている情報をお伝えする活動です。市の広報や議会だより等を声にしてお届けしています。

広報委員：「議会のトビラ」は何人くらいで音訳しますか。何かご意見はありますか。

村上さん：だいたい3～4人体制で取り組みます。文字が大きくなって、読みやすくなりました。議案に対する反対意見も載せているのが良いと思います。

広報委員：今後の課題は何ですか。

村上さん：やはり利用者を増やしていくことです。市内に視覚障がいのある方は大勢いますが、まだまだ、音訳された広報等を受け取れることをご存じない方がいらっしゃると思います。いろいろなイベントに参加し、啓発活動をしていきたいと思っています。

地域のかがやき 地域の笑顔

今渡／今渡北小学校 昔遊びの会



いろんな形ができるんだよ

姫治／今サロン あたご



津軽三味線に合わせて手拍子

取材を終えて

音訳・ヴォイスの会の皆さんは、「議会だより」や「広報かに」を一番熟読されている方たちだと思いました。視覚に障がいのある方のお宅に音訳を30年間届けておられます。とても根気のいる活動だと思いますが、皆さん明るく元気に活動されています。とても崇高なボランティア活動だと再認識しました。

